

# 2026年3月期 第3四半期 決算説明資料



株式会社オートバックスセブン  
2026年1月30日

注：当社は第3四半期において決算説明会を行っておりません。  
この資料は、決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

## 2026年3月期 第3四半期累計期間業績

全体概況	P. 3
セグメント別業績	P. 4
オートバックス事業	P. 5
コンシューマ事業	P. 8
ホールセール事業	P. 9
拡張事業	P. 10

## TOPICS

中期経営計画 TOPICS	P. 11
ESG・SDGsに関する取り組み	P. 14

---

参考資料	P. 15
------	-------

オートバックス事業は、販促施策が奏功し夏タイヤが好調、小売伸長に伴いロイヤリティ収入も増加  
コンシューマ事業は、新規子会社の業績が寄与し、連結全体で増収増益

	2026年3月期 3Q累計			2025年3月期 3Q累計	
	実績	売上比	前期比	実績	前期比
連結売上高	2,119		+12.6%	1,882	+4.8%
売上総利益	756	35.7%	+14.8%	658	+9.9%
販管費	632	29.8%	+13.0%	559	+9.7%
営業利益	124	5.9%	+25.2%	99	+10.6%
営業外収支	9	0.5%	+17.9%	8	+158.2%
経常利益	134	6.3%	+24.6%	107	+15.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	87	4.1%	+14.1%	76	▲16.1%

※表示単位未満は切り捨て    ※対売上比・前期比は円単位で計算

		2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前期比	総括
(単位:百万円)					
オートバックス事業	総売上高	150,702	157,791	+4.7%	増収増益 タイヤのラインアップ拡充やメンテナンス需要により国内小売が好調。 小売の伸長に伴いロイヤリティ収入が増加し、売上総利益が拡大。
	売上総利益	53,815	57,835	+7.5%	
	販管費	36,871	40,048	+8.6%	
	営業利益	16,944	17,787	+5.0%	
コンシューマ事業	総売上高	20,018	38,543	+92.5%	増収・黒字転換 前期に子会社化したホンダディーラーやビーライン、オトロンが業績に寄与。 AudiとBYDの正規ディーラーやオンラインストア等の既存事業も伸長。
	売上総利益	5,446	11,346	+108.3%	
	販管費	6,274	10,778	+71.8%	
	営業利益	▲827	567	—	
ホールセール事業	総売上高	27,235	25,870	▲5.0%	減収増益 国内では日産自動車向けの卸売が減少し、海外では卸売先の減少により輸出取引が縮小。一方で、販管費抑制や中国のタイヤ卸売が拡大したことにより、増益。
	売上総利益	5,448	4,781	▲12.2%	
	販管費	4,969	3,897	▲21.6%	
	営業利益	478	883	+84.5%	
拡張事業	総売上高	6,882	7,993	+16.1%	増収増益 金利引き上げおよび出店の増加に伴い不動産収入が増加。
	売上総利益	1,187	1,715	+44.5%	
	販管費	779	1,019	+30.8%	
	営業利益	408	696	+70.6%	
コーポレート <sup>(※1)</sup>	営業利益	▲7,058	▲7,484	—	

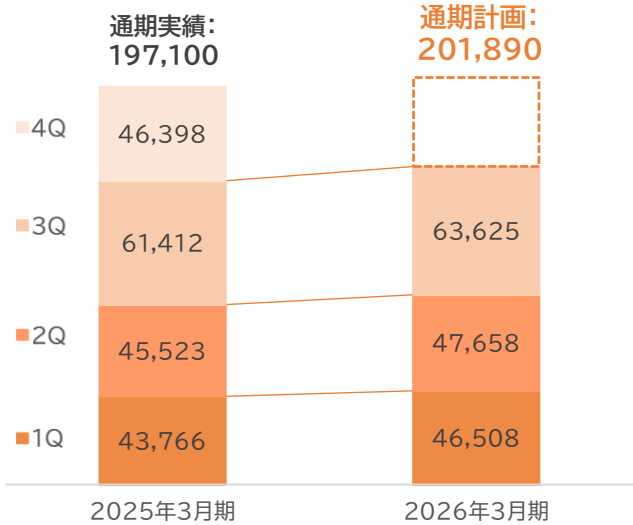
※表示単位未満は切り捨て ※前期比は円単位で計算  
(※1) 「コーポレート」は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費です

(百万円)	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前年比
総売上高	150,702	157,791	+4.7%
小売	71,491	75,665	+5.8%
国内	63,966	68,321	+6.8%
海外	7,524	7,344	▲2.4%
卸売※	75,306	76,443	+1.5%
セグメント間取引	3,904	5,682	+45.5%
営業利益	16,944	17,787	+5.0%

※卸売売上高はロイヤリティを含む

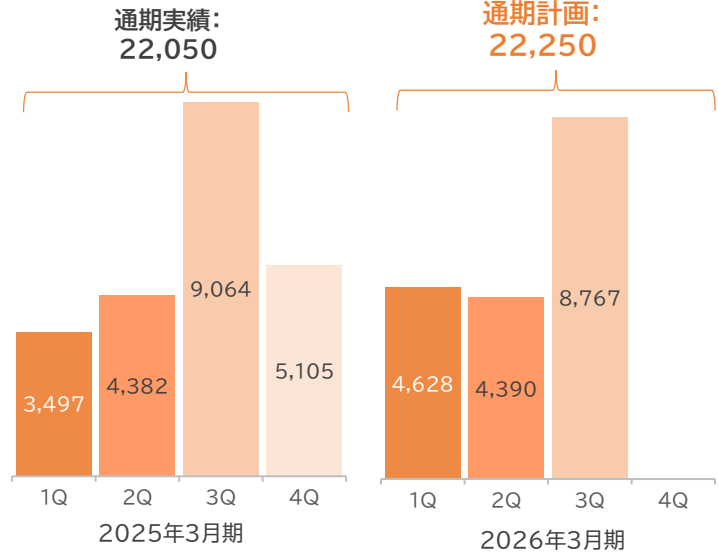
■ 総売上高

(百万円)



■ 営業利益

(百万円)



増収増益

タイヤのラインアップ拡充やメンテナンス需要により国内小売が好調。小売の伸長に伴いロイヤリティ収入が増加し、売上総利益が拡大。

- 国内オートバックス
  - ・ラインアップ拡充や販売施策の強化により夏タイヤが好調
  - ・車両メンテナンス需要により、車検・サービスが伸長
  - ・小売売上の伸長に伴い、ロイヤリティ収入が増加

- 海外小売

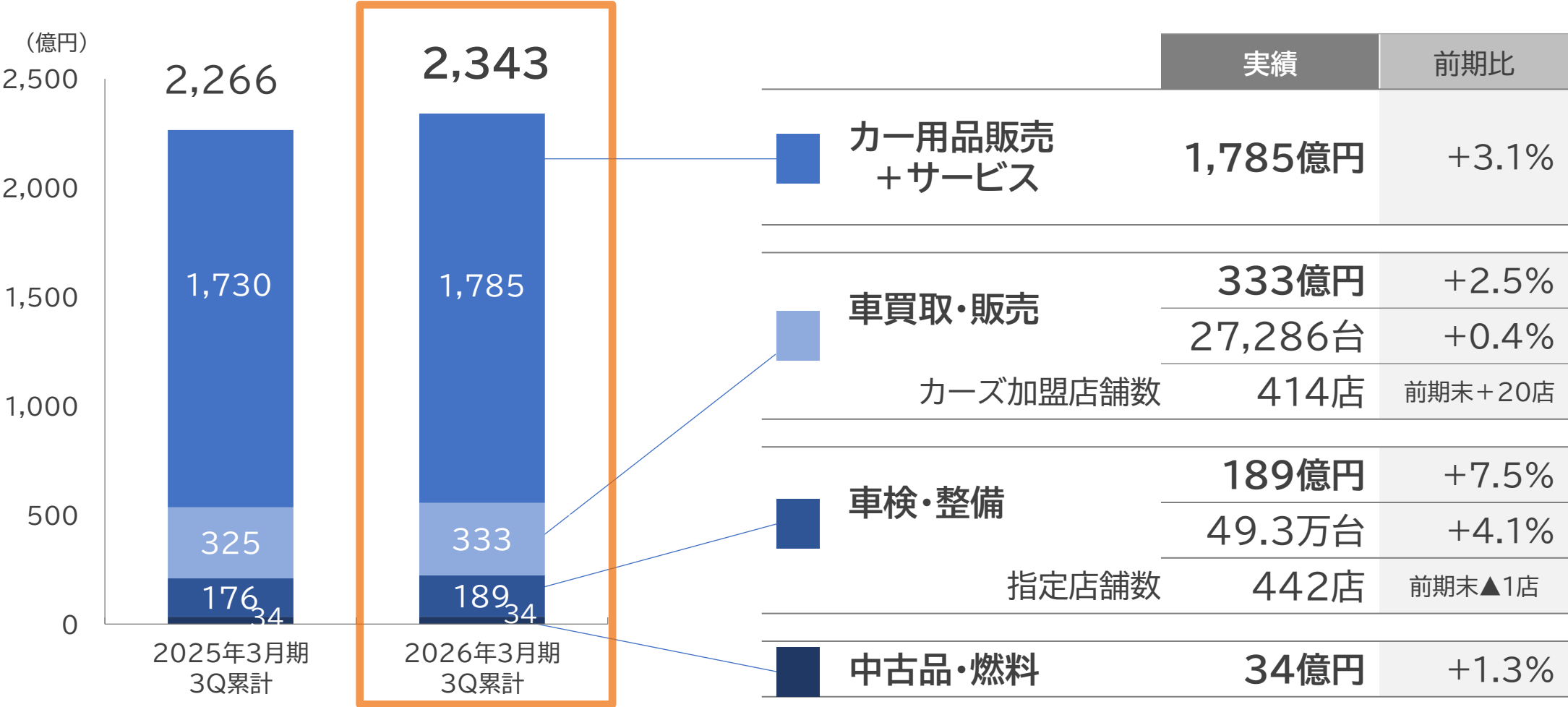
<フランス>

商品のラインアップを拡充するも、景気低迷の影響により売上が減少

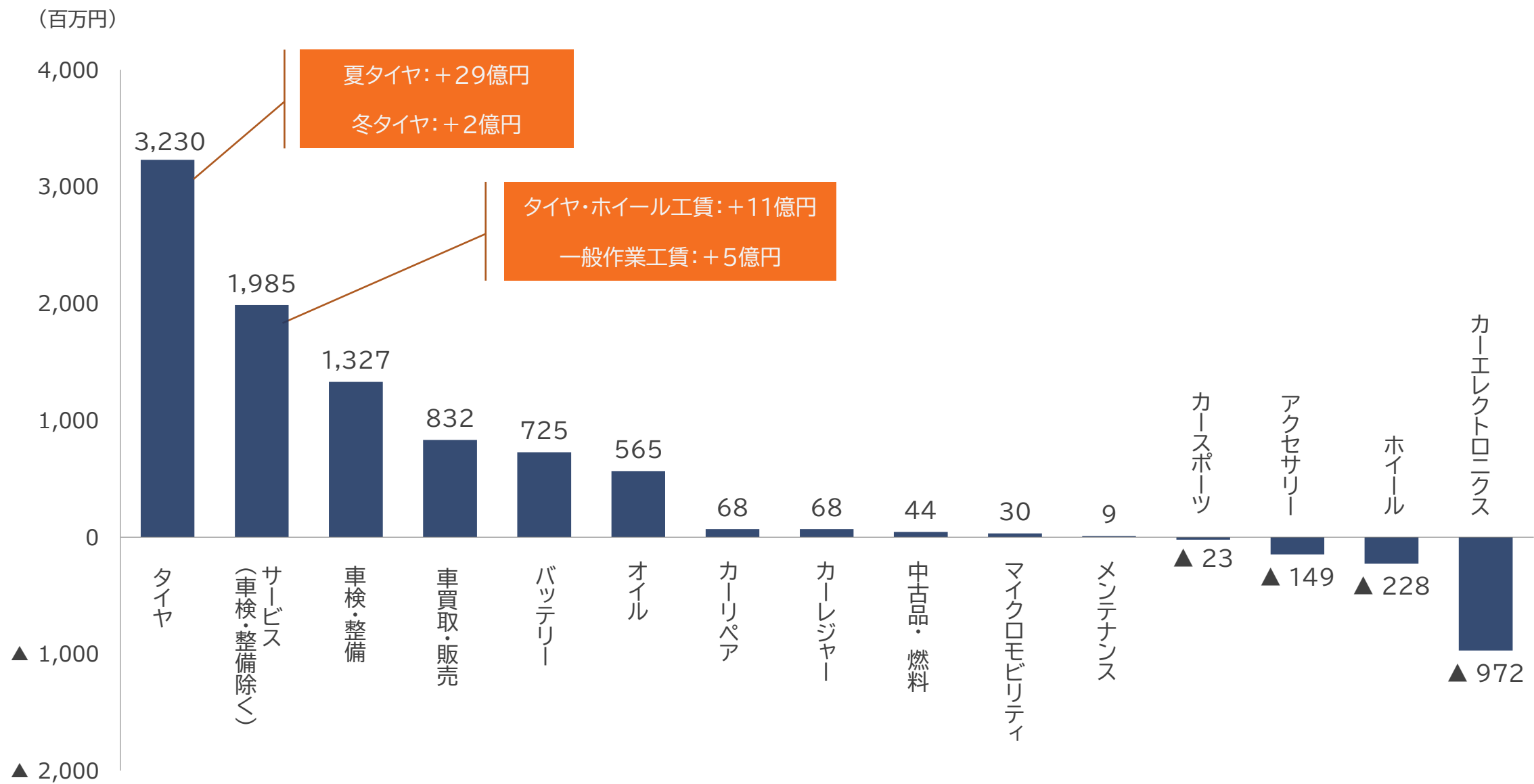
<シンガポール>

既存車両のメンテナンス需要拡大を捉え、ピットサービスが好調で売上が増加

国内店舗売上高 **2,343億円** 前期比 **+3.3%**



※対象：国内オートバックスチェーン全業態。ただし、車買取・販売には、コンシューマ事業の売上を一部含む  
※表示単位未満は切り捨て ※前期比は円単位で計算

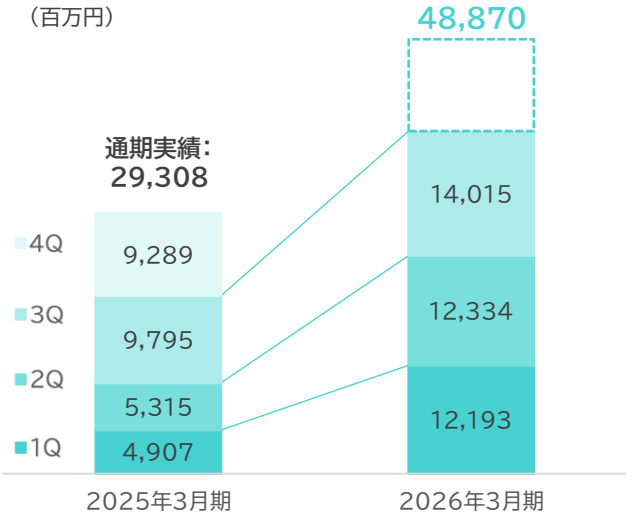


※対象:国内オートバックスチェーン全業態  
※表示単位未満は切り捨て

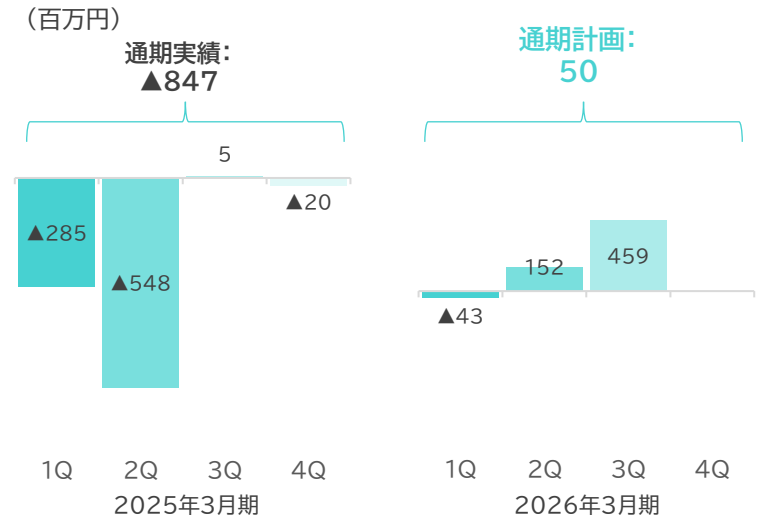
(百万円)	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前年比
総売上高	20,018	38,543	+92.5%
ディーラー※	6,656	12,417	+86.6%
ビーライン	—	5,936	—
オートバックスカーズ	5,413	6,149	+13.6%
オトロン	1,274	5,119	+301.6%
オンラインストア	4,255	5,376	+26.3%
その他	2,265	3,382	+49.3%
セグメント間取引	153	162	+5.7%
営業利益	▲827	567	—

※ディーラー：Audi、Honda、BYD を展開。

■ 総売上高



■ 営業利益



増収・黒字転換

前期に子会社化したホンダディーラーやビーライン、オトロンが業績に寄与。  
AudiとBYDの正規ディーラーやオンラインストア等の既存事業も伸長。

- ディーラー
  - 前期にホンダディーラーを子会社化
  - BYDは新型車投入により販売が好調
- オートバックスカーズ
  - 直営店舗の出店およびFC加盟店新規オープンが寄与
- オンラインストア
  - 自社サイトの伸長と外部モールでの販促施策が奏功し、売上増加
- その他
  - ホームセンターで整備事業等を展開するジェー・シー・イーを子会社化
  - アヤハディオよりホームセンター4店舗の整備事業等を事業譲受

ディーラー



自社ローン型中古車販売店



ホームセンター併設の整備工場



大型の車買取・販売専門店





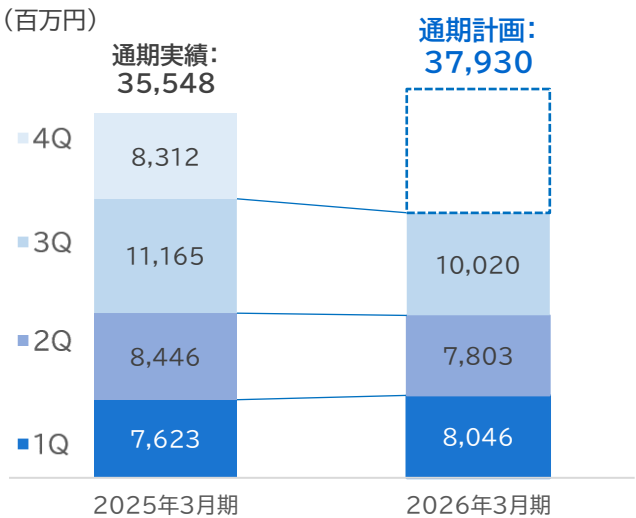
(百万円)	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前年比
総売上高	27,235	25,870	▲5.0%
国内卸売	16,237	15,800	▲2.7%
海外卸売	2,342	2,134	▲8.9%
セグメント間取引	8,656	7,935	▲8.3%
営業利益	478	883	+84.5%

減収増益

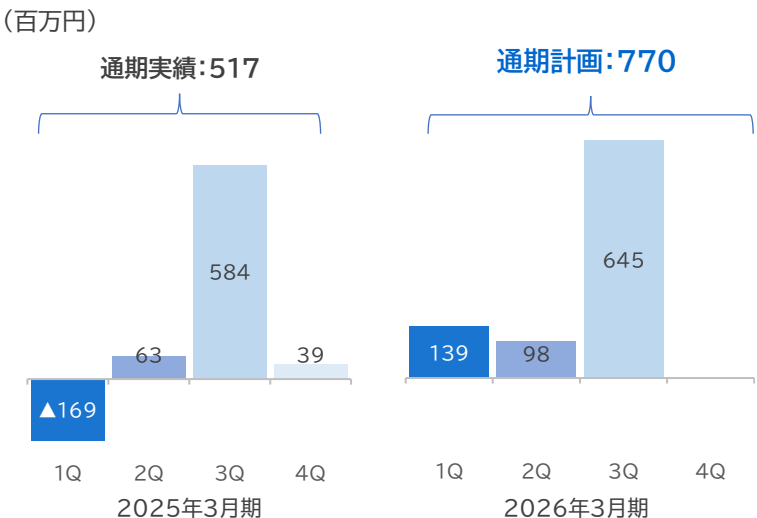
国内では日産自動車向けの卸売が減少し、海外では卸売先の減少により輸出取引が縮小。  
一方で、販管費抑制や中国のタイヤ卸売が拡大したことにより、増益。

- 国内卸売
  - ・セブン-イレブン向けの卸売が拡大
  - ・日産自動車向けの卸売が減少
- 海外卸売
  - 「モビリティプロダクト(AP)事業部」を新設しグローバル調達機能を強化
  - <日本> 卸売先の減少により輸出取引が縮小
  - <オーストラリア> PB商品の販売が好調
  - <中国> 日本向けのタイヤの輸出が拡大

■ 総売上高



■ 営業利益



プライベートブランド「AQ」



海外向けプライベートブランド



オーストラリアの無線通信機器シリーズ「MGX」

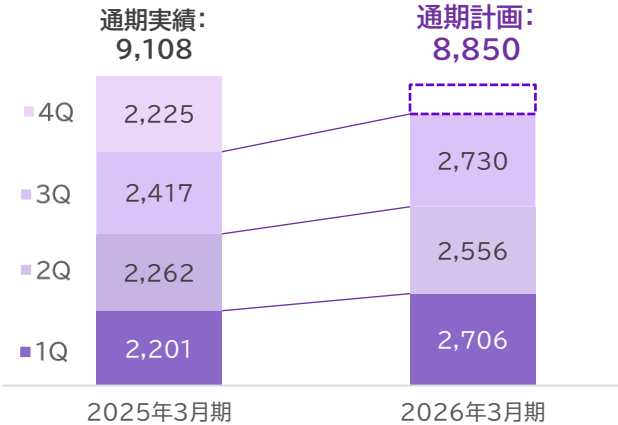


中国のリンロンタイヤ製専売タイヤ



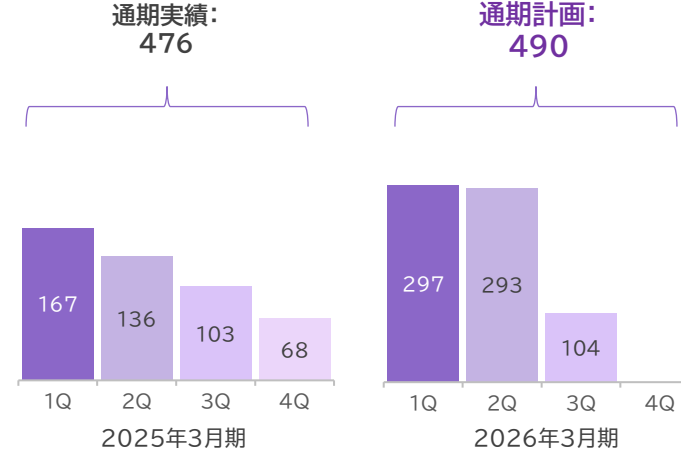
## ■ 総売上高

(百万円)



## ■ 営業利益

(百万円)



## 増収増益

金利引き上げおよび出店の増加に伴い不動産収入が増加。

- ファイナンス  
ローン金利引き上げ等により売上が増加
- 不動産  
新規出店等により不動産賃貸収入が増加

## ■ トピックス

### ビーモ ウェルフェア 「VEEMO Welfare」が兵庫県主催プロジェクトに採択

- ・「VEEMO Welfare」は障害者等用駐車スペースの不適切利用防止と利用者の利便性向上を目的としたサービス
- ・兵庫県有施設・県内民間施設にて実証実験を予定



### レンタカー事業に参入

- ・車検時などの有償代車として提供していたレンタカーサービスを、一般向けレンタカーサービス「オートバックスレンタカー」として順次展開



## ① タッチポイントの創出

### 第3四半期の国内出店状況

新規出店  
22店舗

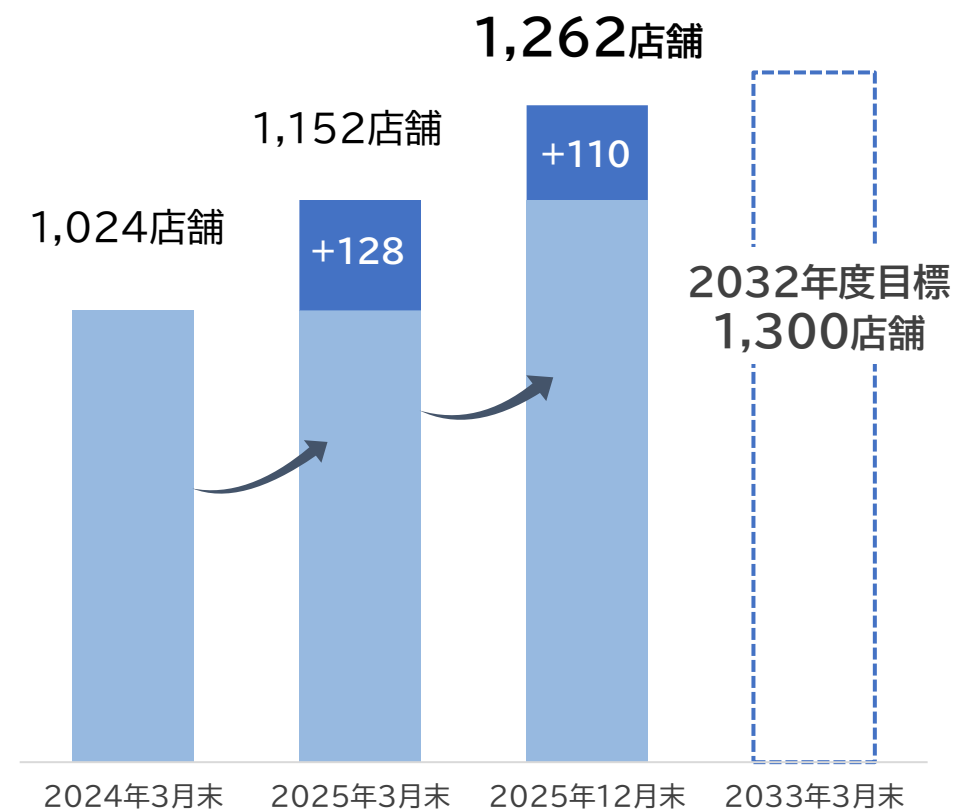
(10月-12月)



### 中期経営計画 戦略骨子

- ①モビリティライフを支え続ける「タッチポイントの創出」
- ②モビリティライフに合わせた「商品・ソリューションの開発と供給」
- ③モビリティライフの変化に対応した「新たな事業ドメインの設定」

### 国内グループ店舗数推移



## ② 商品・ソリューションの開発と供給

### 原価低減の推進

#### 商品開発機能の統廃合

子会社の商品調達・開発機能を吸収分割により統合。外販およびグローバルでのPBブランドの統一や人員配置を適正化



PBエンジンオイルを「AUTOBACS Engine Oil」に刷新

#### 物流効率化

荷役作業を自動化するロボットを物流施設に試験導入し、荷下ろしや仕分け作業を効率化



### 中期経営計画 戦略骨子

- ①モビリティライフを支え続ける「タッチポイントの創出」
- ②モビリティライフに合わせた「商品・ソリューションの開発と供給」
- ③モビリティライフの変化に対応した「新たな事業ドメインの設定」

### 海外卸売の強化

#### マレーシアのライセンス店舗運営から撤退

2026年3月末をもってライセンス店舗の運営事業から撤退し、卸売事業に注力



海外向けプライベートブランドの一部



#### 「モビリティプロダクト(AP)事業部」を新設

アジア・太平洋地域を軸に、グローバル調達機能のさらなる強化を図る



### ③ 新たな事業ドメインの設定

#### マイクロモビリティの取り扱い拡大

#### 車検不要の小型EV「Lean3」の取り扱い決定

2026年8月より日本国内での販売・整備・メンテナンスを開始予定



#### 中期経営計画 戦略骨子

- ①モビリティライフを支え続ける「タッチポイントの創出」
- ②モビリティライフに合わせた「商品・ソリューションの開発と供給」
- ③モビリティライフの変化に対応した「新たな事業ドメインの設定」

#### 事業シナジーを創出する業務提携

#### ヒョンデとの協業

ZEV体験拠点の展開や整備協力を推進し、オートバックス28店舗でヒョンデEVの試乗を実施



#### ヤマハとの協業

アフターマーケット向け車載オーディオ製品の開発に着手



ヤマハ製の車載スピーカー搭載デモカー

## 交通遺児の未来をサポート

- プライベートブランド「AQ.」商品の売上金の一部を、交通事故で保護者を失った子どもたちを支援する財団へ寄付
- 全国のオートバックス138店舗に、同様の支援団体へ寄付ができる自動販売機を設置



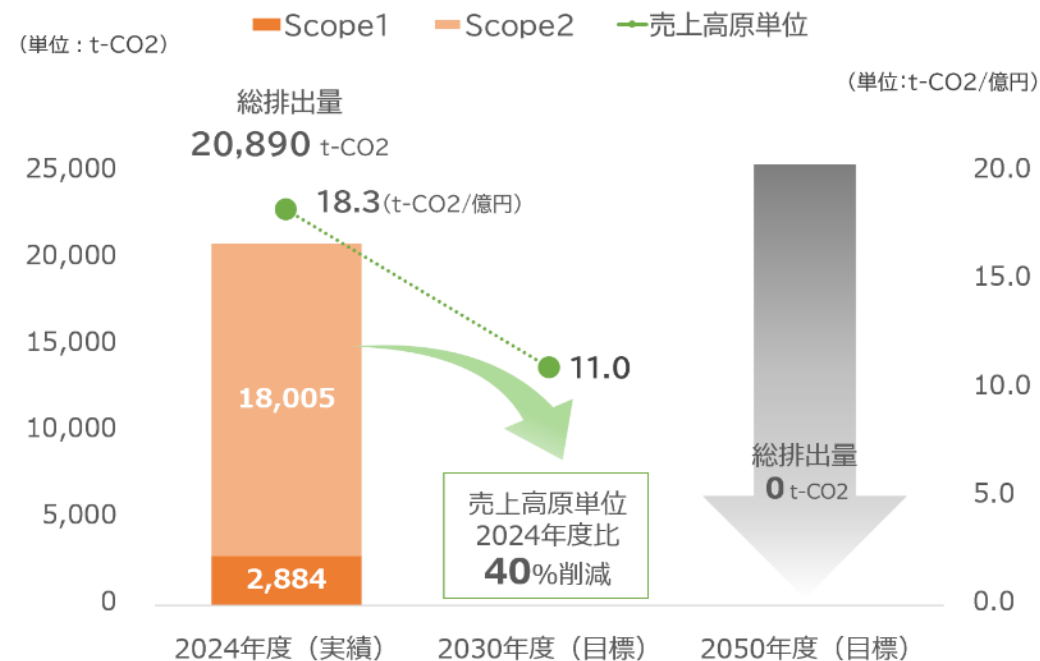
AQ.商品の一部



## CO<sub>2</sub>排出量削減

- 2030年度までに、売上高1億円あたりのCO<sub>2</sub>排出量を2024年度比で40%削減する目標を設定
- 日本政府の宣言に基づき、2050年度カーボンニュートラル(排出量実質ゼロ)の達成を目指す

### CO<sub>2</sub>排出量（総量&売上高原単位）



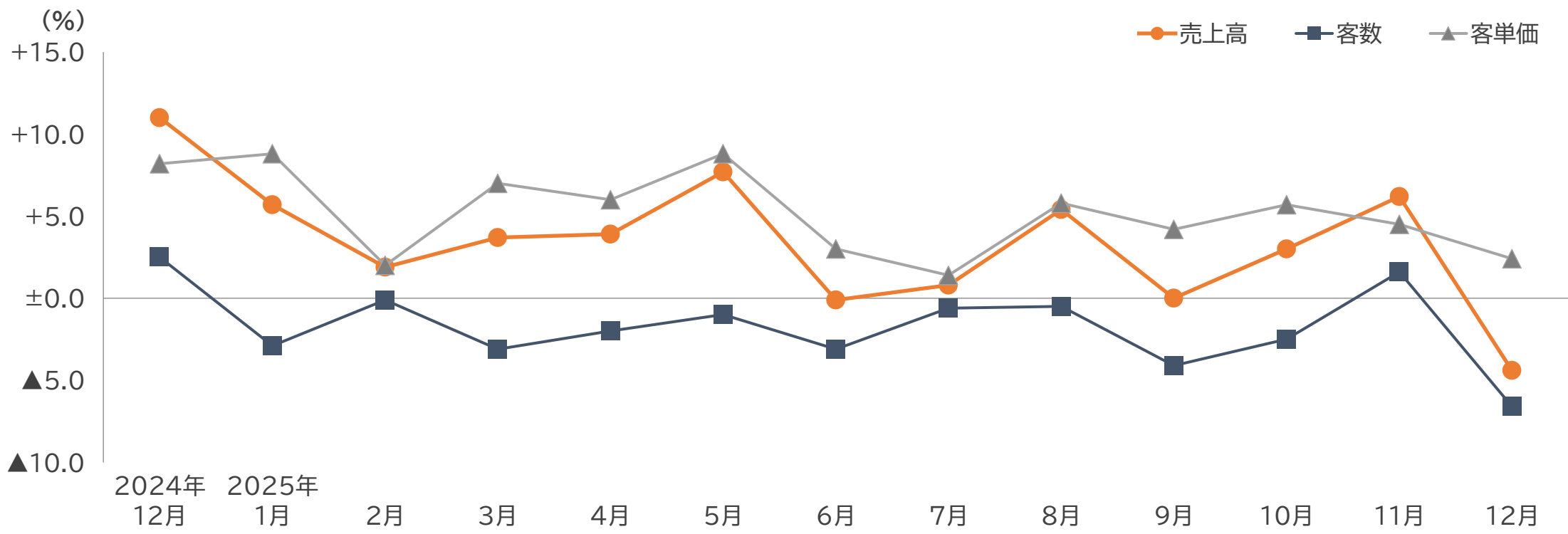
台数合計 **27,286台** 前期比 **+0.4%**

業販	
内訳	売上台数
本部へ売却	241台
本部へ売却を委託	5,068台
店舗から直接	14,417台
業販 合計	19,726台

小売	
内訳	売上台数
中古車	5,489台
新車	2,071台
小売 合計	7,560台

※オートバックス事業およびコンシューマ事業における車買取・販売

## 3Q累計 既存店 売上前期比 +2.2% 客数前期比 ▲2.2%



事業環境／トピックス

寒波・降雪

新車販売台数が増加

円安、インバウンド増

タイヤ値上げ

ブラックフライデーセール

全体概況

セグメント別業績

TOPICS

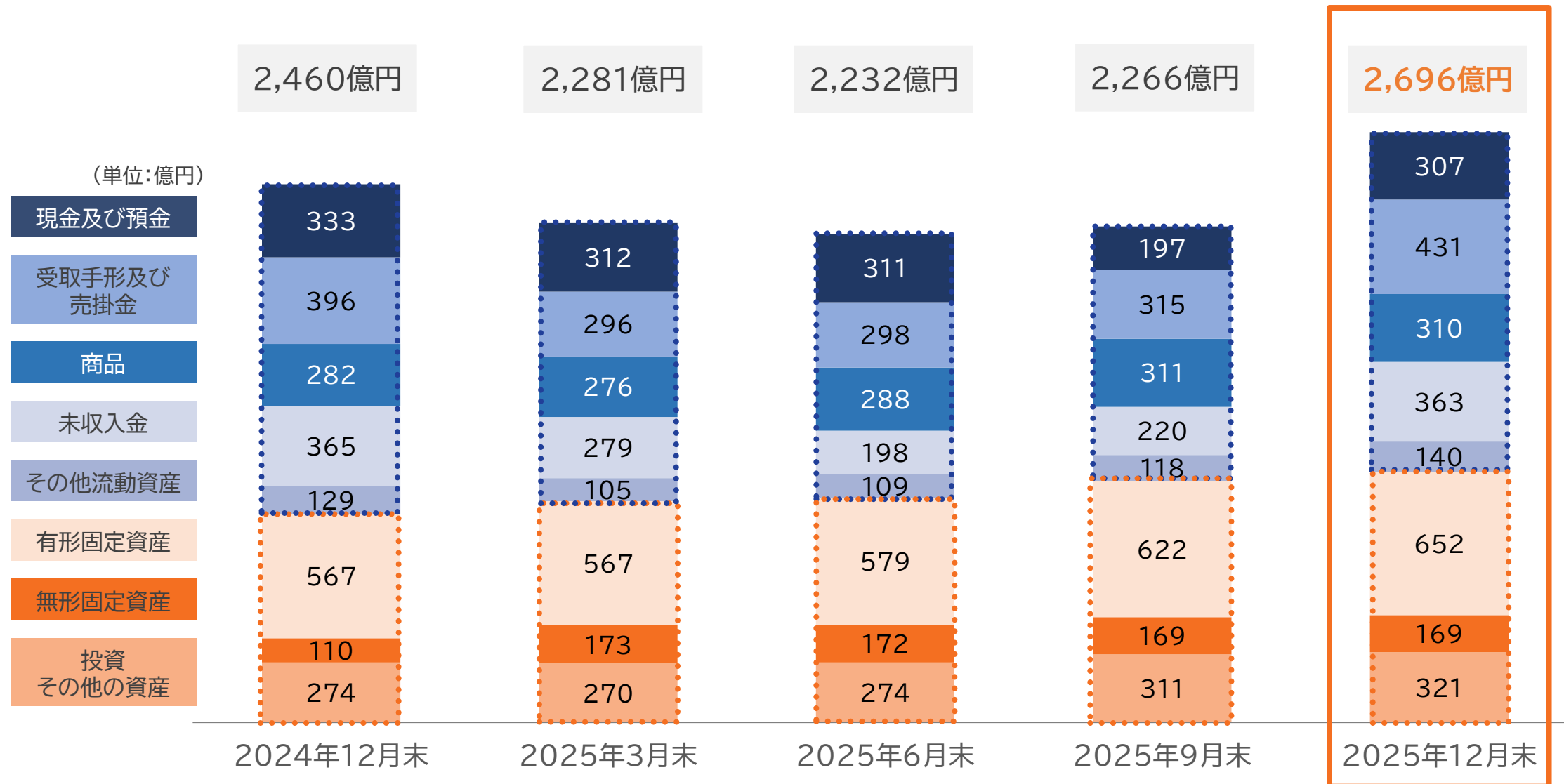
参考資料



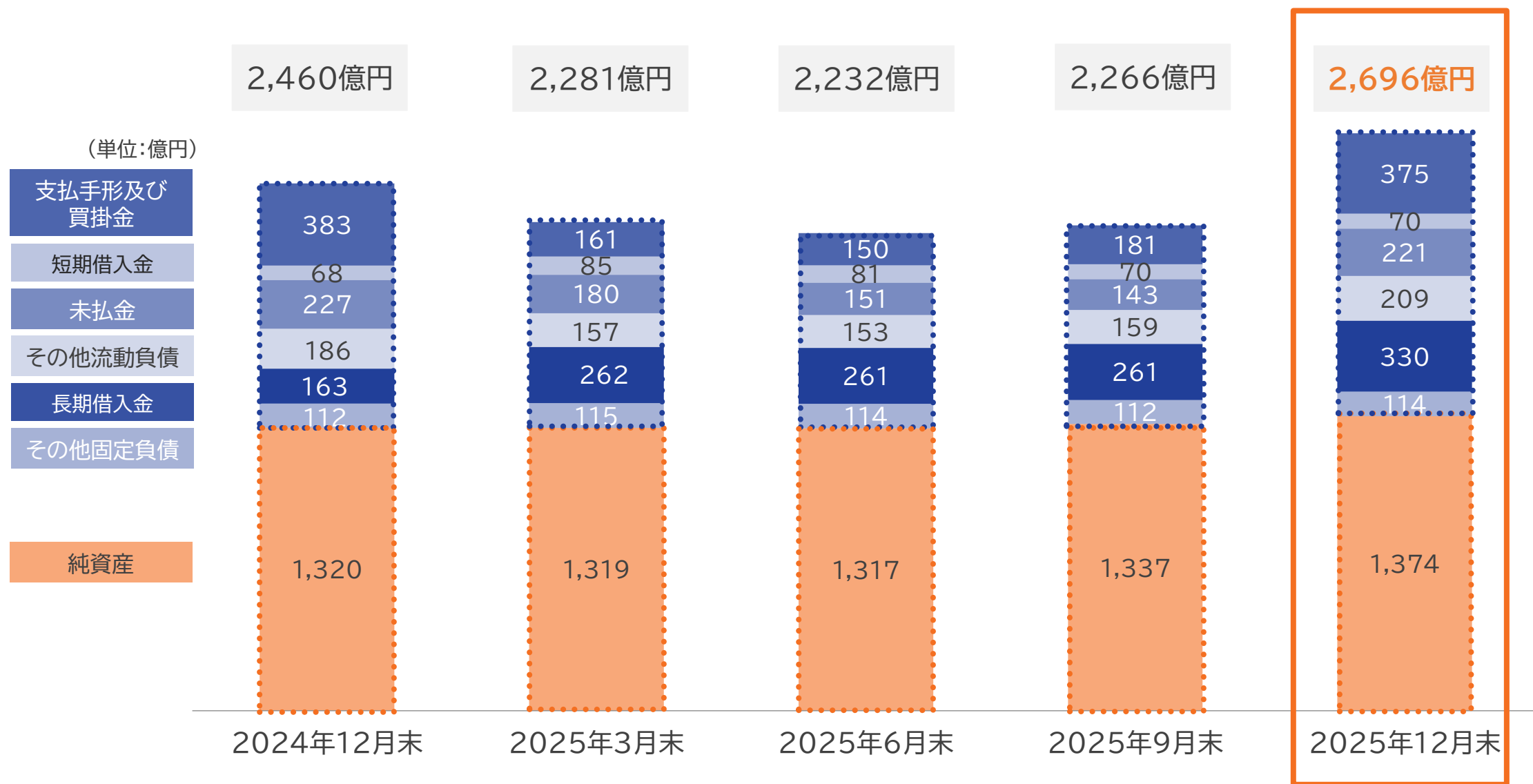
国内	25/3末	2026年3月期				26/3末	
		3Q累計(実績)		25/12末	4Q(計画)		
		新店	退店		新店		退店
オートバックス	509	+9		518	+1	519	
オートバックスガレージ	1			1		1	
スーパーオートバックス	71			71		71	
A PIT AUTOBACS	2	+1		3		3	
オートバックスセコハン市場(※)	18	+4	-1	21		21	
Smart+1(※)	14	+2		16		16	
オートバックスエクスプレス	11			11		11	
オートバックスカーズ(※)	394	+21	-1	414	+1	415	
ディーラー	20	+2		22	+2	24	
ビーライン	79	+1	-5	75	+2	77	
オトロン	17	+2		19	+2	21	
AUTO IN	8	+75	-1	82		82	
その他拠点	8	+1		9		9	
国内計	1,152	+118	-8	1,262	+8	1,270	

※インショップ、併設店を含みます

海外	25/3末	2026年3月期			26/3末
		3Q累計 (実績)	25/12末	4Q (計画)	
台湾	6		6		6
シンガポール	2		2		2
タイ	122	+5	127		127
フランス	8		8		8
マレーシア	4	-1	3	-3	0
フィリピン	6		6		6
海外計	148	+4	152	-3	149



※表示単位未満は切り捨て



※表示単位未満は切り捨て



### 見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性があります。